

五・七・五で 気持ちを表現しよう！

小出特別支援学校 中学部3年生

田原美紀 保坂吉彦 行方幸恵

1 生徒の課題

- ・語彙が少ないため、コミュニケーションがとりにくい。
- ・表現力が乏しく、日記などを書くときに、事実だけの羅列になってしまう。

2 目標

俳句作り
語彙力増加⇒**表現力UP**

- ・5・7・5のリズムが親しみやすい。
- ・前年度、俳句(標語)を使っの指導が効果的だった。

3 指導の内容と過程

ステップ① 興味を高めながら語彙を増やす

- カルタ遊び
- 連想ゲーム
- しりとり

ステップ② 俳句(5・7・5)のリズムに慣れる

- リズム遊び(俳句にあわせて手を叩く)
- 百人一首

ステップ③ 俳句を作ろう

- 言葉集め ⇒ ・連想ゲーム
・擬態語・擬声語
- 俳句作り ⇒ ・穴埋め俳句作り
・気持ちを表した俳句作り
・5文字7文字を組み合わせての俳句作り
・出来事俳句作り
- 季語を使った俳句作り ⇒ ・季語集め
・季語を入れての俳句作り

セールスポイント

①擬態語に興味を持たせるための手立て
iPadアプリ
「Onomatope」を使用

②気持ちを表す語彙を集めるための手立て
⇒顔の表情イラストの活用



③語彙を集めるための手立て
⇒ **イメージマップ作り**

・イメージマップ作り(1時間)
・俳句を作る(1時間)
の2時間1セットで
繰り返し取り組む
↓
使える語彙の増加



生徒の変容

A児

くらげをね
おとうさんが
つかまえた

かなしいの
みんながないて
どうしたの

学習後:
気持ちを表す言葉
使えるようになった

B児

かきつと
しんかんせんで
つかたよ

クッキーを
バクバクたぐ
おいしいな

学習後:
擬態語+気持ちを表す言葉
使えるようになった



4 検定票の工夫

評価項目で、俳句をチェック

5 課題

俳句

気持ちを表す
ことができる
ようになった

日常生活へ
の般化が**課題**

○一日の感想文作り

連絡帳を活用 ⇒ 気持ちを表す言葉を使うよう指導

| 評価項目 | 評価(できているら) |
|--------------------|------------|
| 1 五・七・五のリズムで読める。 | |
| 2 五・七・五の句になっている。 | |
| 3 繰り返し声に言葉を使っていない。 | |
| 4 擬態語・擬声語が入っている。 | |
| 5 気持ちを表した言葉が入っている。 | |
| 6 季節を入れた句になっている。 | |
| 7 季節を2回使っていない。 | |

課題がクリアできたか
自己評価可能